11 2006 月号
No. 15
平成18年11月1日発行

広報 けせんぬま

人と自然が輝く
食彩豊かなまち

目次

5つの都市宣言 …… 2
一層の行政改革を推進 …… 5
低気圧により被害 …… 6
落合直文短歌大会 …… 7
師走のまちに「歓喜の歌」が響きます …… 8
合併記念式典を開催　ほか …… 9
健康プラザ …… 10
まちの話題 …… 12
この人にインタビュー/すてきな仲間 …… 14
図書館だより …… 15
お知らせ …… 16
子どもの広場／11月の各種相談 …… 19
ふるさと再発見 …… 20

交通ルールとマナーを守って

気仙沼地区交通安全協会主催の「気仙沼市子供会対抗交通安全競技大会」が、10月15日、南気仙沼小学校体育館で開催されました。初めて開催されたこの大会では、小学生と高齢者がチームを構成し、安全な歩行方法と自転車の正しい乗り方を競いました。

新市のまちづくりの方向性を示す5つの都市宣言

- 非核平和都市宣言
- 交通安全都市宣言
- 「気仙沼スローフード」都市宣言
- 男女共同参画都市宣言
- 魚食健康都市宣言

5つの都市宣言

市では、このほど「非核平和都市」「交通安全都市」「『気仙沼スローフード』都市」「男女共同参画都市」「魚食健康都市」の5つの都市宣言を行いました。

都市宣言は、まちが目指す理想や目標、まちづくりへの決意などを明らかにするものです。

全国の自治体では、そのまちの歴史的背景や地域の特性を生かした、様々な都市宣言を行っています。

旧気仙沼市では「非核平和都市」「交通安全都市」「『気仙沼スローフード』都市」「男女共同参画都市」「魚食健康都市」の5つの宣言を行っていました。また、旧唐桑町では「暴走族追放」「ゆとり」「環境」「非核平和の町」の4つの宣言を行っていました。

新市の宣言については、気仙沼市・唐桑町合併協議会での協議で、新市において新たに制定することにしていました。市では、旧市町の宣言を基本とし、調整の整った5つについて、市議会9月定例会に提案しました。市議会での審議の結果、5つの宣言とも原案どおり可決されました。

それぞれの宣言文は、主に旧気仙沼市の宣言内容を基本とし、表現を「ですます」調に改めたり、時代の変化に合わせて全文を見直すなど、市民を交えた検討組織で再検討するなどして新たなものにしました。

市では、今回の宣言の内容を、市民の皆さんや全国に向け発信するとともに、宣言に基づく様々な活動を実施し、その具現化に努めていくことにしています。

非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。わが国は、世界唯一の被爆国として、核戦争の回避を求め、被爆の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界に訴え続けているところです。

しかし、核軍備の拡大は依然として続けられ、世界の平和と人類の生存に大きな脅威をもたらしています。

気仙沼市は、日本国憲法の平和理念に立って、非核三原則の完全実施を願い、すべての国の核兵器の廃絶と軍備の縮小を希求し、世界の恒久平和の達成を目指し、ここに非核平和都市を宣言します。

交通安全都市宣言

人命尊重の理念に基づき、交通事故のない社会を実現することは、市民共通の願いであり、交通環境の改善を図るとともに、市民一人ひとりが交通ルールを遵守し、思いやりのある正しい交通マナーを実践することが肝要です。

よって、気仙沼市は、交通事故のない安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、ここに交通安全都市を宣言します。

男女共同参画都市宣言

気仙沼市は、男女が社会のあらゆる分野において、男女平等の基本理念に基づき、互いに尊重し合い、共に向上する、豊かでうるおいのある地域社会をつくるため、ここに男女共同参画都市を宣言します。

たがいに　ひとりの　人間として
個性を　認め合い
よろこびも　責任も　わかち合うまち

職場に　地域に　家庭に
女と男が参画できるまち

リアスの風とともに　次代へ
ささえあう心を　つなげよう

魚食健康都市宣言

気仙沼市は、全国屈指の水産都市として、国民の動物性たんぱく質の供給につとめています。

豊かな海の幸である水産物は、米とともに私たちの食生活にとって欠かせない食糧です。

米と魚を基本とした伝統的な日本型食生活は、各国から高く評価され、とりわけ我が国においては、魚食普及による健康の維持・増進が図られつつあります。

水産業を基幹産業としている本市は、極めて栄養的に優れている魚をとり入れた食生活により、市民がこぞって健康で快適な生活をおくることを願い、ここに魚食健康都市を宣言します。

「気仙沼スローフード」都市宣言

ふるさとを愛する私たちは、美しいリアスの海と緑豊かな山や川など、恵まれた自然環境と共生しながら、地域固有の食文化と生活を大切にしてきました。

しかしながら、近年、食を育んできた自然や伝統的な文化は、便利さを優先する生活様式の変化により、失われつつあります。

地域のかけがえのない財産である風土と食文化を守り、次の世代に伝えていくこと、そして多様性を認めあう心豊かな人間性を育み、自然と調和する住みよいまちにしていくことが私たちの願いです。

この願いを実現するため、私たちは、心をひとつにして、ここにスローフード運動の精神に基づき、自然と文化を守りながら、食を活かした個性的で魅力あるまちづくりを進めることを宣言します。

1　地域の豊かな食材を育む海や山、川などの自然環境を守り、次の世代に引き継いでいきます。
1　地域の風土が育んだ、伝統的な食材や料理技法、質の良い食べものと飲みものを守り、工夫し、提供していきます。
1　安全で安心な質の良い食材を生産する人々を守り、育てていきます。
1　子供たちを含め、人々に、食の楽しさや味覚の大切さ、真の心の豊かさを伝えていきます。
1　地域や国、信条の違いを超えて、それぞれのもつ食の多様性を認めあい、交流を通して相互の理解を深めながら、世界の平和に寄与していきます。

一層の行政改革を推進

第2回行政改革推進委員会に集中改革プラン（案）を提示

第2回市行政改革推進委員会が10月13日に開催され、市では行政改革を進めるための具体的な施策の実施計画となる「気仙沼市集中改革プラン」の素案を示しました。委員会では、委員の意見を基に見直された素案を、次回の会議でさらに審議することとしました。

新市の財政は、収入の根幹をなす市税収入の減少や、国の三位一体の改革などに伴う地方交付税の削減などにより、非常に厳しい状況にあります。

このような中で、多様化する行政ニーズに対応するためには、行政組織や各種制度を始め、従来の市民サービスのあり方の見直しなど、行政全般にわたる大胆な改革が必要不可欠となっています。

これまで、旧気仙沼市では「第六次気仙沼市行政改革大綱」、旧唐桑町においては「唐桑町行政改革大綱」を策定し、行政改革を推進してきました。

しかし、新市においても、市税収入の減少や、地方交付税の大幅な削減などによる歳入の落ち込みが深刻なことから、これまで以上に行政改革の推進が必要となっています。

このため、庁内に市長を本部長とする市行財政改革推進本部などを設置し、改革の方向性を示す市行政改革大綱などの策定を進めてきました。

市集中改革プラン（案）を提示

この大綱については、7月に、行政改革について審議などを行うため設置した、民間の委員10人で組織する「市行政改革推進委員会」（委員長・気仙沼商工会議所専務理事　春日敏春氏）に案を示していたところです。

さらに、今回開催された委員会では、大綱（案）を具現化するための具体的な施策を掲げた市集中改革プラン（案）を示し、意見をいただきました。

このプラン（案）は、大綱に掲げる8つの「行政改革を進める視点」に基づき、全部で72項目の具体的な施策を推進項目として掲げ、達成年度や効果額をまとめたものです。

このうち、推進項目は、民間委託や施設の指定管理者の導入、市民参加と協働の推進、定員適正化計画の策定・実施、行政手続きのオンライン化の検討、市税の収納対策、下水道料金の適正化など多岐に及んでいます。

次回委員会でプラン（案）を確定

委員からは、「コストダウンなどの検討を行うとともに、市民が何を望んでいるか、もっと把握すべき」「達成年度の設定が遅いのではないか。迅速な改革が必要」「職員の人件費が膨大だ。もっと民間委託などにより人件費の縮減が必要」などの意見が出されました。

委員会では、これらの意見を基に、市が見直したプラン（案）を、次回の会議でさらに審議することとしました。

10月6・7日

発達した低気圧による暴風と高波・高潮で被害

台風並みに発達した低気圧の影響により、10月6日から7日にかけて暴風雨が続き、強風による倒木や高波による水産施設への被害、高潮による床下浸水や道路の冠水などが発生し、市民生活に大きな影響を及ぼしました。

市水産振興センター前の冠水状況

暴風雨が長時間続く

台風16号と台風17号から温かく湿った空気が流れ込んだため、前線上に発生した低気圧は、10月6日には関東の南海上で急速に発達しながら北上し、7日に宮城県沖を通過しました。この低気圧は、ゆっくりとした速度で進んだため、雨と風が長い時間続きました。

気仙沼地域には、6日午前10時50分に暴風・波浪警報が発表され、午後4時10分には大雨・洪水警報も発表されました。

エースポート前付近は冠水のため通行止めになりました

市民生活に大きな影響

今回は、低気圧に伴う暴風と高波、高潮による被害が多く発生しました。

市の調査によると、高潮により、84世帯が浸水し、事務所や倉庫なども79棟所で浸水しました。浸水被害が多かったのは、魚市場前、弁天町一・二丁目、潮見町、南町三丁目などです。

また、高波により、石浜漁港などで防波堤が破損する被害があったほか、漁船の転覆や養殖いかだの被害も多く発生しました。

そのほか、倒木が道路を被い、通行止めになったり、乗合バスや旅客船などが運休・欠航するなど、市民生活に大きな影響がありました。

石浜漁港では防波堤が被害を受けました

地盤の低い地域は高潮に注意を

今回の低気圧被害で特徴的だったのは、高潮が発生したことです。

高潮は、気圧の低下による吸い上げと海岸に向かって吹く風による吹き寄せで起こる海面の上昇で、そのほかに台風の接近に伴う高波によるものもあります。

今回浸水被害があった地域は、県が作成した津波浸水予測図の浸水地域とほぼ一致します。これらの地域に居住する方々は、高潮や津波による浸水に注意が必要です。なお、津波浸水予測図は、県のホームページ（http://www.pref.miyagi.jp/kikitaisaku/tunami/yosokuzutop.htm）でご覧になれます。

第21回落合直文全国短歌大会

直文の功績をたたえ顕彰

一般の部の入賞者

応募作品は3、943首

落合直文全国短歌大会が9月30日に市内のホテルで開催されました。

落合直文は、本市出身の教育者・国文学者で、歌人としても知られています。直文は、与謝野鉄幹などと「あさ香社」を結成し、近代短歌の革新に努めました。

この大会は、直文の詩歌に果たした、計り知れない功績をたたえ、顕彰しようと「落合直文会」が開催しているもので、今回で21回となります。

大会に寄せられた作品は、3、943首で、一般の部・高校生の部・中学生の部に分けられ審査されました。特に高校生の部・中学生の部の応募が圧倒的に多く、学校単位での応募が目立ちました。中学・高校生にとっては、詩歌に親しむ貴重な機会となっています。

三枝昂之氏が講演

大会では、それぞれの部ごとに入賞者の表彰が行われました。

また、選者で、文芸評論家・歌人の三枝昂之氏が「短歌の現在を考える」をテーマに講演しました。三枝氏は「短歌は、人間の体温に一番近い詩型であり、36度の詩型といわれる」「近代短歌は、自分自身の生活を詠む点において和歌とは違う」と短歌の特徴について語りました。

直文については、「公家など特権階級から和歌を解放しなければならないと考えたのではないか」と分析し「与謝野鉄幹の才能を見いだし、和歌を短歌に変えることができる人物として支援した」と鉄幹との関係を説明しました。そして、明治26年の鉄幹との運命的な出会いを「短歌百年を考えるうえで重要な一シーン」と述べました。

第21回落合直文全国短歌大会入賞作品（抄）

一般の部

〈落合直文賞〉
甲冑をよろいしごとく護岸されふる里の海小さくなりたり
小野寺洋子（気仙沼市）

〈選者賞〉
「ようやくに夏ね」と白さパラソルをさして出でゆく米寿の母は
箱崎　禮子（東京都豊島区）

〈気仙沼市長賞〉
戻らない　故郷の海辺をこの原石が先砂となって埋め尽くすまで
高橋　晃（東京都太田区）

高校生の部

〈落合直文賞〉
ひと夏の舞台へかけたこの思いラストは顔に向日葵が咲く
小野寺志織（気仙沼高等学校1年）

〈気仙沼市長賞〉
あぜ道を一人歩くと少年に戻れる田舎を愛し続ける
佐藤　士成（気仙沼向洋高等学校2年）

中学生の部

〈落合直文賞〉
ハードルを飛び越えていく瞬間はこの世のすべてが止まってみえる
尾形　将来（名取市みどり台中学校2年）

〈気仙沼市長賞〉
「頑張って」その一言が言えませんそして終わった中三の夏
及川　奈純（気仙沼中学校3年）

12・24

新気仙沼市誕生記念

「第九」演奏会2006

師走のまちに「歓喜の歌」が響きます

合同練習の様子（９月29日）

師走になると日本全国でベートーベンの交響曲第九番（「第九」）が演奏されます。今年は、本市でも、12月24日午後２時から、市民会館大ホールで第九の演奏会が開催されます。

新気仙沼市誕生記念「第九」演奏会２００６は、今年３月の市町合併により、新しい気仙沼市が誕生したことを記念し、仙台フィルハーモニー管弦楽団と市民約１５０人が参加する合唱団により、ベートーベンの交響曲第九番の演奏を行うものです。

新市誕生を記念して

第九は、ベートーベンが最後に作曲した交響曲で、四つの楽章で構成されています。第四楽章は合唱付きの「歓喜の歌」で、おなじみの旋律です。

本市では、昭和58年に旧気仙沼市制施行30周年を記念して、音楽好きの市民の方々が中心となり、合唱団「気仙沼第九をうたう会」を結成し演奏会を開催しました。このとき参加した会員の中から「合併を機に、もう一度第九を歌って、あの感激を味わいたい」という声が上がり、社団法人気仙沼青年会議所に運営面での協力を要請し「『第九』をうたう会実行委員会」が結成されました。

本番に向け真剣な練習

合唱団員の募集は、７月から行われました。８月18日には全体説明会が開催され、１５０人を超える方々が参加することになりました。参加者は、二十代から七十代と幅広い年齢層で、音楽の経験についても、経験のある方、ない方、様々です。

練習は、ソプラノ・アルト・テノール・バスの４パートに分かれ、パートごとに、週２回、午後７時から９時までみっちり行っています。はじめのうちは、ドイツ語の歌詞に手こずっていた方もいましたが、練習を重ねるたびに上達しています。９月29日には、市民会館のステージで１回目の合同練習が行われ、パート練習とは違った緊張感の中で、真剣にそして楽しみながら練習していました。今後も週２回のペースで練習し、12月24日の本番に臨むことにしています。

実行委員長で（社）気仙沼青年会議所理事長の菅野正浩さんは「合併を機に、これから市民の皆さんと一緒にまちづくりを進めていければと思います。今回の第九の公演は、多くの方々が参加しており、実施すること自体が活性化につながりますし、これがまちづくりの一つのきっかけになることを期待しています。参加者は、みんな頑張って練習していますし、はじめの頃に比べ、どんどん上達しています。多くの市民の皆さんに聴いていただきたいですね」と話してくださいました。

演奏会の前売り券は、３、５００円で11月はじめから販売する予定です。詳しくは実行委員会事務局にお問い合わせください。

問い合わせ先／
『第九』をうたう会実行委員会事務局
（社）気仙沼青年会議所内
☎（２３）１３１１

エコ・フェスタを開催します

市では「みんなでつくるエコシティ気仙沼」をテーマに、市内の環境保全に取り組む団体などとの協働で「エコ・フェスタ」を開催します。

日時 11月19日(日)
午前９時から正午まで

場所 市総合市民福祉センター「やすらぎ」(錦町)

主な内容

◆**親子で楽しむ**　環境かみしばい、ソーラーカー工作教室、浄化槽は金魚鉢（金魚すくい）、エコニコマート（環境にやさしい商品選び）など

◆**学ぶ**　身近な温暖化防止講座、子どもエコクラブ活動報告、古傘を利用したマイバックづくり講座　など

◆**お得にゲット**　遊休品や無農薬野菜のバザー、リサイクル品の抽選会、堆肥の無料配布　など

◆**その他**　各構成団体の活動報告など

■**問い合わせ先**／エコ・フェスタ実行委員会事務局（市環境課内）
☎(22)6600 内線342

合併記念式典を開催

平成18年３月31日、旧気仙沼市と旧唐桑町が合併し、新しい「気仙沼市」が誕生しました。市では、新市の誕生を祝うとともに、まちの更なる発展を願い「気仙沼市合併記念式典」を開催します。

式典には市民の皆さんも参加できます。お気軽にお越しいただき、ともに新市誕生を祝いましょう。

なお、臨時駐車場を反松公園に準備しますが、ご来場の際は、乗り合わせのうえお越しいただくようお願いします。

■**日時**／**11月18日(土)**
午後１時30分から

■**場所**／**市総合体育館「ケー・ウエーブ」メインアリーナ**

■**問い合わせ先**／
市総務課行政係
☎(22)6600 内線221

気仙沼市合併記念式典
■プログラム

○開 式
○式 辞
○あいさつ
○総務大臣表彰
○感謝状贈呈
○祝 辞
○来賓紹介
○祝電披露
○アトラクション
・只越七福神舞
・早稲谷鹿踊
○閉 式

◆市長交際費を公表します

市では、市長交際費執行額について、上半期分と一年分を公表し、支出の透明性の確保を図っています。今回は、平成18年度上半期（４月１日から９月30日まで）の執行状況を公表します。

市長交際費は、市政を円滑に運営するため、外部との交際上必要とされる経費です。主な内容としては、各種団体の行事や会議などへの参加費用、慶弔費用などがあります。

一般、特別、水道・ガス事業会計全ての総額では、予算額432万5千円に対し、158件、93万9,348円を執行し、執行率は21.7％となりました。各会計の執行状況は右の表のとおりです。

【平成18年度上半期（４～９月）市長交際費の内訳】（単位：件・円）

費用の項目	一般会計 予算額3,965,000円		特別会計 予算額210,000円		水道・ガス事業会計 予算額150,000円	
	件数	執行額	件数	執行額	件数	執行額
会　費	24	104,500	0	0	0	0
慶　祝	91	478,680	5	31,000	1	4,043
弔　意	24	219,625	1	10,000	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0
記念品・土産	2	10,730	0	0	0	0
健闘激励	3	40,000	0	0	0	0
その他	6	35,100	1	5,670	0	0
合　計	150	888,635	7	46,670	1	4,043
執行率		22.4%		22.2%		2.7%

■**問い合わせ先**／秘書広報課秘書係　☎(22)6600 内線205

すこやか通信

健康フェスティバルを開催

市では健康増進計画「けせんぬま健康プラン21」と「からくわ生き活き21」に基づき、すべての市民が健康で明るく生きがいをもち、元気に生活できる市民社会を実現するため、総合的な健康づくり施策を実施しています。

この一環として、市老人クラブ連合会・気仙沼薬剤師会・気仙沼歯科衛生士会・市保健推進員連合会・市食生活改善推進員連絡協議会との共催により、市民の健康保持・増進に寄与することを目的に「健康フェスティバル」を開催します。

昨年度の健康フェスティバルの様子

日時　11月11日（土）午前10時から午後１時まで

場所　市民健康管理センター「すこやか」

内容

第１部
- (1)　開会式
- (2)　健康大使表彰式

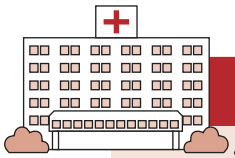
第２部
- (1)　講演会
  - テーマ　「笑って愛して三枚目(ちんどんパフォーマンス／ユーモア講座)」
  - 講　師　日本笑い学会みちのく支部　国分雅美氏
- (2)　展示・相談
  - 薬剤師会コーナー
  - 歯科衛生士会コーナー
  - 食生活改善推進員連絡協議会コーナー

問い合わせ先／市健康介護課健康増進係　☎(21)1212

歯周病の検診を実施しています

市では40・50・60・70歳の節目の年齢の方を対象に歯周疾患検診を実施しています。

実施期間／11月30日(木)まで
場所／市内登録医療機関
対象者／40歳(昭和41年4月2日～昭和42年4月1日生まれ)・50歳(昭和31年4月2日～昭和32年4月1日生まれ)
60歳(昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生まれ)・70歳(昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生まれ)
検診料／40・50・60歳は500円　70歳と生活保護世帯（証明書の提出は不要）は無料
申し込み方法／各種検診で既に申し込みをした方は、希望の医療機関へ電話予約のうえ受診してください。それ以外の方で検診希望の方は、問い合わせてください。
検査項目／問診、歯の検査、歯周組織の検査、口腔清掃状況、義歯の状況など
問い合わせ先／市健康介護課健康増進係　☎(21)1212



11月の休日救急当番医

3日(金)
森田医院（八日町）
☎（２２）６６３３
小野寺医院（赤岩五駄鱈）
☎（２３）９８９０
菅原歯科医院（南郷）
☎（２４）１８１８

5日(日)
大里胃腸科内科医院（南郷）
☎（２２）７１５７
小野医院（唐桑町宿浦）
☎（３２）３１２８
鈴木歯科医院（魚町）
☎（２２）０８２７

12日(日)
齋藤外科クリニック（東新城）
☎（２２）７２６０
三条小児科医院（田中前）
☎（２３）００８８
千葉歯科医院（南町）
☎（２２）１３６０

19日(日)
葛内科胃腸科医院（仲町）
☎（２２）６７５０
猪狩医院（内の脇）
☎（２３）８７８０
畠山歯科医院（仲町）
☎（２２）２２３３

23日(木)
大友病院（三日町）
☎（２２）６８６８
佐々木小児科医院（魚町）
☎（２２）６８１１
松谷歯科医院（仲町）
☎（２２）７０６２

26日(日)
相澤内科医院（陣山）
☎（２２）６６２３
村岡外科クリニック（仲町）
☎（２３）３９９０
佐藤医院（唐桑町馬場）
☎（３２）３１０６
みうら歯科クリニック（長磯船原）
☎（２７）４１４５

問い合わせ先
気仙沼市医師会
☎(22)0842・☎(22)8383
気仙沼歯科医師会
☎(24)6060

11月の健康診査と健康相談

4カ月児健康診査
■16日(木)
受付時間／午後0時15分～0時30分
対象／
平成18年7月1日～7月20日生まれ
■17日(金)
受付時間／午後0時15分～0時30分
対象／
平成18年7月21日～7月31日生まれ

1歳6カ月児健康診査
■30日(木)
受付時間／午後0時15分～0時30分
対象／
平成17年4月1日～4月26日生まれ

2歳6カ月児健康診査
■9日(木)
受付時間／午後0時15分～0時30分
対象／
平成16年4月9日～5月9日生まれ

3歳児健康診査
■10日(金)
受付時間／午後0時15分～0時30分
対象／
平成15年4月26日～5月10日生まれ

離乳食教室
■21日(火)
集合時間／午前9時45分
対象／
①平成18年4月～5月生まれ
②全地区
③参加希望者は予約が必要です

【持参するもの】
①母子健康手帳
②問診票
③バスタオル

健康診査・教室会場／市民健康管理センター「すこやか」
申込・問い合わせ先／市健康介護課健康増進係（すこやか内）☎(21)1212

11月の献血日程

実施日	種別	受付時間	実施会場
11月 1日(水)	全血	9:00～11:00	イタバシニット㈱気仙沼工場
		12:30～14:00	フィッシュカッターツネザワ商事
11月 8日(水)	全血	15:15～16:30	気仙沼市立病院

問い合わせ先／市健康介護課健康予防係（すこやか内）☎(21)1212

まちの話題

圏域の特産品が一堂に

気仙沼・本吉地方の水産・商工・農業林業・鉄鋼などの産品を一堂に集めた、気仙沼・本吉地方産業まつりが、市魚市場北側構内と海の道を会場に開催されました。

会場は、魚介類や水産加工品・季節の野菜をはじめ圏域の産品を買い求める、４万７千人の人出で賑(にぎ)わいました。

また、毎年、静岡市と日本一の長さを競って行われるジャンボのり鉄火巻き大会も、約1,300人が参加して行われ、305mを巻いて、静岡市の303mを抜いて日本一に返り咲きました。

軽スポーツと花と緑に親しむ

市民ラジオ体操の集い＆「花のみち45」ふれあいウォーキングが、10月９日に行われました。これは、市緑化推進協議会と市が、体育の日と都市緑化月間に合わせ、市民の皆さんに、ウォーキングなどの軽スポーツと、花と緑に親しんでもらおうと開催しているものです。

田中公園と岩月交差点付近のライブヘアー駐車場に集合した参加者は、市体育指導員の指導で、ラジオ体操で体をほぐした後、サルビアやコスモスなどが咲き誇る「花のみち45」を、朝日を浴びながら思い思いのペースで歩いていました。

懐かしい旧国鉄色車両来る

10月９日、ＪＲ大船渡線で臨時列車「３鉄祭・さかり」号が運転され、大勢の鉄道ファンで賑(にぎ)わいました。

この列車は同日、大船渡市の盛駅で開催された「３鉄祭」に合わせ、一ノ関経由盛岡・盛間で往復運転されたもので、かつて同線経由で運転された急行「むろね」号に使用された赤い線が鮮やかな旧国鉄色車両の登場に、沿線でも懐かしそうに眺める人たちが見られました。

（情報・写真提供＝広報けせんぬまモニター吉田勝さん）

トンネル災害に備え訓練

安波トンネル防災訓練が、10月12日に行われました。これは、国土交通省仙台河川国道事務所や県警察本部・消防本部など防災関係機関・団体が、トンネル内での災害の対応に万全を期すため実施したものです。

訓練は「気仙沼バイパス安波トンネル内でマイクロバスと乗用車２台の衝突事故が発生した」という想定で初期消火訓練や避難誘導訓練、救出・救助・救急訓練など18項目に及ぶ訓練を行いました。

参加者はもしもの時に備え、機敏に行動し、対応方法を確認していました。

ウォークラリーに挑戦

中央公民館主催による、10月の「みんなで遊ぼう！『わんぱく広場』」が、14日に行われました。わんぱく広場は、管内の小学生に遊び場を提供し、健全育成を図ろうと、毎月第２土曜日に行っているもので、毎回30人ほどの児童が参加しています。

この日は、シャフルボードやダーツなど６つのチェックポイントを回って得点を競うウォークラリーに挑戦しました。参加した児童たちは、気仙沼レクリエーション協会の方々やジュニアリーダーの指導を受けながら、楽しく過ごしました。

この人にインタビュー⑦

佐藤　喜久子 さん

（気仙沼市交通安全母の会会長・本郷）

このほど、宮城県警察本部と(社)宮城県交通安全協会主催による交通安全反射材活用ファッションコンクールで、気仙沼市交通安全母の会が出品した「反射材付き万能スカーフ」が優良賞を受賞しました。今回は会長の佐藤喜久子さんに、日ごろの活動などについてお話を伺いました。

「交通安全は茶の間から」

▼交通安全母の会はどんな組織？

交通安全母の会は、交通安全の輪を広げ、交通事故のない社会の実現に貢献しようという母親の会です。会員は、各地区の婦人会や交通安全協会女性部の会員などで組織しています。活動は、交通安全運動への参加や交通安全思想の普及のための事業などで、交通安全市民総ぐるみ運動の折鶴作戦への参加や、街頭キャンペーンなどを実施しています。

▼今回の作品について

交通安全反射材活用ファッションコンクールは、今回が初めての開催でした。会員の皆さんと出品について相談したところ、すぐに反射板付き万能スカーフのアイディアが出ました。他の入賞作品は、１着十数万円もかかるものなど、大がかりなものですが、私たちの万能スカーフは、黄色の裏地を利用し、反射材を貼り付けただけのものなので、だれにでも簡単に作ることができます。このように、手軽で普及可能なところが評価されたのだと思います。

▼今後の抱負は

交通安全母の会は「交通事故をなくそう」という同じ気持ちで、仲良く、団結して活動しています。今後とも、「交通安全は茶の間から」をスローガンに、交通事故のない明るい地域社会の実現のため、少しでも力になれたらと思います。

すてきな仲間⑦

唐桑レクリエーションダンス同好会

- ■設　　立　平成８年
- ■代　　表　原祝子（しゅくこ）さん
- ■会　　員　40人
- ■主な活動　定期練習、福祉施設の慰問、イベントへの参加など
- ■問い合せ先　☎(32)3235（原祝子）

『体を動かして健康づくりと仲間づくり』

唐桑レクリエーションダンス同好会は、唐桑地域の、踊ることが好きな女性の方々の集まりです。会員は50代から70代の40人ほどで、ほとんどは主婦の方々です。

レクリエーションダンスは様々な分野の曲に、多くの踊りの要素を取り入れ振り付けした踊りで、いつでも、どこでも、だれでも踊ることができます。このダンスを通して、気軽に体を動かしながら、自分の健康づくりと、仲間づくりをしようというのが、同好会の趣旨です。

同好会が結成されたのは、平成６年度と７年度に、当時の唐桑町商工会婦人部の事業として、フォークダンスを中心とした踊りを練習したのがきっかけでした。この事業は２年間で終了しましたが、婦人部の会員の間から「せっかく覚えたのに、このまま終わるのはもったいない」という声が上がり、10人ほどの会員が集まり結成したのが、この同好会です。

現在は、唐桑地域内の３カ所で、週１回から月１回の練習を行っています。練習の成果は、唐桑地域市民文化祭や各地区の敬老会などで披露しているほか、最近はイベントへの出演要請もあります。

会員の鈴木昭子さんは「レクリエーションダンスは、適度に体を動かすので、気持ちいいですね。踊っているといやなことも忘れるし、ダンスを通して仲間もできます」と話してくださいました。

図書館だより

問い合わせ先
市図書館　☎(22)6778
唐桑分館　☎(32)3130内線552

10月27日から11月9日までは秋の読書週間です

秋の夜長、たまにはのんびりと読書を楽しみませんか。
図書館では、小説はもちろん、秋の味覚のお料理本や手編みの手芸本、旅の本など、様々なジャンルの本をそろえています。ぜひ、ご利用ください。

「子どもの読書」に関する講演会を開催

市図書館と市子ども読書活動推進事業実行委員会では、「市子ども読書活動推進計画」に基づき「子どもの読書」に関する講演会などを開催します。

■絵本で遊ぼう！だれでも本が好きになる新しい手法「アニマシオン」を学ぶ
日時／11月9日(木)　午後3時30分から5時まで
場所／市地域交流センター大ホール（ワン・テン」ビル2階）
講師／有本秀文氏(国立教育政策研究センター研究員)
内容／「読書のアニマシオン」とは、何人かで同じ本を読み、その本の内容についてゲームをしたり、感想を述べあったりする手法です。
対象／一般100人(アニマシオン実践は30人)

■子どもの目で絵本を楽しむ：絵本作家なかがわちひろ講演会とワークショップ
日時／11月19日（日）午後1時30分から4時まで
場所／市地域交流センター大ホール（ワン・テン」ビル2階）
講師／なかがわ ちひろ氏（絵本作家・翻訳家）
内容／「天使のかいかた」で、絵本日本賞を受賞した絵本作家なかがわちひろさんが、子どもの目線で絵本を楽しむことについてお話をします。
対象／親子50組100人（お子さんは5歳以上）
その他／折り紙とのりを持参してください。
※託児をします。ご希望の方は事前に申し込んでください。
※終了後サイン会をします。
※入場料は無料です。申し込みは図書館にお願いします。

■なかがわちひろ絵本展
日時／11月14日(火)から18日(土)まで
場所／市図書館2階ホール

「古本リサイクル市」を開催

読書週間行事「古本リサイクル市」を開催します。
日時／11月5日（日）午前9時30分から午後4時まで
場所／市図書館2階会議室
冊数／一人8冊まで（無料）

11月のおはなし広場

今月のおはなし広場は、25日(土)午前10時30分から11時くらいまで、図書館2階で行います。
幼児から小学校低学年向けの紙しばいや絵本の読み聞かせなどをします。

図書館長の実験工作教室

日時／11月18日（土）午前10時30分から正午まで
場所／市図書館2階会議室
11月のテーマ／砂鉄で作る磁石
定員／20人
※材料は図書館で準備します。申し込みは図書館まで。

新着図書

一般室

- 「数々のナゾ」 岡田ただし 著
- 「号泣力」 武藤清栄 著
- 「ぼくのしょうらいのゆめ」 高野麻結子 編集
- 「決断！あの時 私は こうした」 自由民主党 編
- 「君を守りたい」 中島博行 著
- 「ダ・メール」 植村文明 著
- 「自分でできるダンボールインテリア」 マゴクラフト 監修
- 「もうひとつの涙そうそう」 ＴＢＳ「あなたの涙そうそう」プロジェクト 編
- 「わたしは甘えているのでしょうか？〈27歳・ＯＬ〉」 村上龍 著
- 「手のひらの中の宇宙」 川端裕人 著

児童室

「おじいちゃんちでおとまり」
なかがわ ちひろ 作・絵

ぼくは、はじめておじいちゃんの家に一人で泊まりに来たけど、おじいちゃんのこと、よく知らない。実はおじいちゃんはすごい冒険家だったんだ…。
なかがわさんの描く冒険話は、ちょっぴりドキドキワクワクできて、しかも温かい気持ちにしてくれます。

絵本
- 「びくびく ビリー」 アンソニー・ブラウン 作、灰島かり 訳
- 「はっぱじゃないよ ぼくがいる」 姉崎一馬 文・写真

文学
- 「ふみ子の海」 市川信夫 著

その他
- 「14歳からの政治 日本の「これから」がわかる教科書」 長谷部尚子 著

第一級海上特殊無線技士講習を実施

船舶の国際通信が可能な技士免許を、本講習の修了試験をもって取得できます。

■**対象**／雇用船員と離職船員
■**講習期間**／12月8日（金）から14日（木）まで
※船舶職員として国際航海（商船）に2年以上従事した方は、12月8日から10日までの英語講習が免除されます。
■**場所**／気仙沼市水産振興センター研修室
■**定員**／40人
■**受講料**／無料（ただし、教本代など1万円を負担）
■**申込期限**／11月24日(金)まで（定員に達し次第締め切り）
※受講生を派遣した事業主には、訓練移動助成金が支給されます。
　申込方法など、詳しくはお問い合わせください。
■**申込・問い合わせ先**／気仙沼水産振興センター運営協議会
☎（23）6270

「間伐体験講習会」を開催

県気仙沼地方振興事務所では、森林や林業への理解を深めてもらうため、スギ林で間伐体験講習会を開催します。

■**日時**／11月19日（日）午前9時30分から　※小雨決行
■**場所**／市民の森（雨天休憩施設）
■**募集人員**／20組（1組3人程度）
■**参加費など**／300円（保険料）※おにぎりなどを持参してください。
■**申込期限**／11月13日（月）
※申込方法など、詳しくはお問い合わせください。
■**申し込み・問い合わせ先**／県気仙沼地方振興事務所農林振興部林業振興班
☎（24）2535

オストメイト相談会を開催

ストマ（人工肛門など）を造設した方や、その家族を対象に相談会を開催します。

■**日時・場所**／
●**ウロ部会（人工膀胱）**＝11月18日（土）午後1時から4時まで　仙台市荒町市民センター
●**イレ部会（回腸人工肛門）**＝11月25日（土）午後1時から4時まで　仙台市福祉プラザ
■**内容**／術後のケア、補装具、社会生活、福祉制度などに関する相談
※詳しくはお問い合わせください。
■**問い合わせ先**／(社)日本オストミー協会宮城県支部・菅原
☎0228（32）4234

国民年金のお知らせ

これまで、年金受給者の現況確認として、年1回「現況届」の提出をお願いしていました。しかし今後は、年金受給者の負担軽減のため、住民基本台帳ネットワークシステムを活用し、現況確認を行うことになりました。

これにより、本年12月以降は現況届の提出が不要になります。

ただし、加給年金額対象者で生計維持確認が必要な方や、障害年金受給者で診断書などの提出が必要な方は、引き続き現況届の提出が必要ですので、ご注意ください。

■問い合わせ先
石巻社会保険事務所　☎0225(22)5115
市民課国民年金係　☎(22)6600 内線367
唐桑総合支所市民生活課
☎(32)3130 内線244

公民館行事

中央公民館

◆市民健康講座
■**日時**／11月2日（木）午後2時
■**場所**／中央公民館
■**内容**／講話「薬との上手な付き合い方」講師＝佐藤征之さん（市立病院薬剤科次長）
■**参加費**／無料
※参加者を募集しています。
詳しくは、中央公民館（☎（22）6760）にお問い合わせください。

◆ふれあいフェスティバル（気仙沼中央公民館まつり）
■**日時**／11月5日（日）午前9時30分から
■**場所**／中央公民館ほか

◆気仙沼分館ちょっと早めのクリスマスパーティー
■**日時**／11月22日（水）午後6時30分から
■**場所**／サンマリン気仙沼ホテル観洋

◆気仙沼分館ソフトバレーボール大会
■**日時**／11月26日（日）午前9時から
■**場所**／中央公民館体育館

鹿折公民館

◆鹿折公民館まつり
■**日時**／11月5日（日）午前9時30分から
■**場所**／市総合市民福祉センター「やすらぎ」

松岩公民館

◆水梨分館ソフトバレーボール大会
■**日時**／11月2日（木）午後7時30分から
■**場所**／水梨小学校体育館

◆松岩地区チャリティショー
■**日時**／11月12日（日）①午後1時30分から　②午後6時から
■**場所**／松岩公民館

◆松岩地区ソフトバレーボール大会
■**日時**／11月19日（日）午前8時30分から
■**場所**／松岩小学校体育館

新月公民館

◆月立地区駅伝競走大会
■**日時**／11月5日（日）午前9時から
■**場所**／月立小学校集合

◆新月地区女性のつどい
■**日時**／11月12日（日）午前10時から
■**場所**／月立小学校

階上公民館

◆階上地区ボウリング大会
■**日時**／11月25日（土）午後6時30分から
■**場所**／さくらボウル

大島公民館

◆大島公民館まつり
■**日時**／11月4日(土)・5日（日）午前9時30分から
■**場所**／大島公民館

学区外通学許可基準のお知らせ

市では、学区外通学を希望する場合の基準を設けています。認められるのは次の場合です。

■許可基準／
①児童生徒が心身に障害をかかえている場合
②家庭の事情による場合（一時転居や下校後保護観察が不十分な場合など）
③いじめや不登校など教育的配慮を必要とする場合
④学区が隣接する地区で通学距離や安全面に配慮する場合（平成19年度の該当は小学校１学年から５学年児童です。上学年に兄や姉がいる場合は、上学年児童の転校にも配慮します。）
⑤その他教育長が適当と認める場合
※④により希望する場合は、12月末までに本来通学すべき学校へ連絡し、平成19年１月下旬に郵送される入学通知書と印鑑を持参して、市教育委員会で手続きしてください。

■問い合わせ先／市教育委員会学校教育課
学事係　☎(22)3441

県有地を売り払います

■物件／宅地
①九条３７５―２
②赤岩五駄鱈１３８―３０
③赤岩五駄鱈１３８―５０
■売払方法／一般競争入札
■入札日／①12月13日（水）
②・③12月15日（金）
■入札場所／県庁内会議室
■申込期間／11月1日（水）から30日（木）まで
※申込方法など、詳しいことはお問い合わせください。
■申込・問い合わせ先／県財産利用推進室
☎０２２（２１１）２３５３
ホームページ
http://www.Pref.miyagi.jp/kanzai/

県立気仙沼養護学校「気養祭」を開催

■日時／11月18日（土）午前9時から午後1時20分まで
■場所／県立気仙沼養護学校
■内容／児童生徒による演劇や気養太鼓などの発表、児童生徒・ＰＴＡの作品展示・同窓会コーナー　など
■問い合わせ先／県立気仙沼養護学校
☎（２４）３０１９

福寿荘「冬至カボチャ粥（がゆ）会」を開催

■日時／11月16日（木）午前10時30分から午後1時まで
■場所／老人福祉センター「福寿荘」
■対象／市内在住の60歳以上の方
※ご来場には送迎バスをご利用ください。
停車場など、詳しくはお問い合わせください。
■問い合わせ先／老人福祉センター福寿荘
☎（２３）１０２２

気仙沼警察署からのお知らせ

犯罪被害給付制度をご存じですか。
この制度は、故意の犯罪行為により死亡した被害者の遺族や、身体に障害を負わせられた被害者などに対して、国が給付金を支給し精神的・経済的打撃の緩和を図ろうとするものです。
詳しいことは、警察署などにお問い合わせください。
■問い合わせ先／県警察本部警務課犯罪被害者支援室
☎０２２（２２１）７１７１
気仙沼警察署
☎（２２）７１７１

自衛隊生徒採用説明会を開催

■日時／11月5日(日)①午前10時30分から ②午後1時から ③午後3時から
■場所／市地域交流センター（「ワン・テン」ビル2階）
※保護者の同伴が必要です。
詳しくはお問い合わせください。
■問い合わせ先／自衛隊宮城地方協力本部登米地域事務所
☎０２２０（３４）２２４４

気仙沼税務署からのお知らせ

11月11日から17日までは「税を考える週間」です。
国税庁では「少子・高齢社会と税」をテーマに、様々な広報・広聴活動を行います。
詳しくは国税庁ホームページの特集ページをご覧ください。
■国税庁ホームページ
http://www.nta.go.jp
■問い合わせ先／気仙沼税務署総務課
☎（２２）６７８０

「秋の観光見どころウォッチング」をご利用ください

観光ボランティアガイド気仙沼では、会員が市内各地の見どころを無料で案内する企画を実施しています。

◆魚市場
日時　11月11日（土）午前6時30分から7時40分まで

◆気仙沼内湾
日時　11月12日（日）午前10時から

◆岩井崎
日時　11月11日（土）午後1時30分から

◆大島（十八鳴浜）
日時　11月11日（土）午前9時30分から

◆唐桑半島（巨釜半造）
日時　11月12日（日）午前10時から

※申込方法や集合場所など、詳しくはお問い合わせください。
■問い合わせ先／気仙沼市観光協会
☎（２２）４５６０

新気仙沼市誕生記念

唐桑の美味しいものがいっぱい！

第21回 リアス牡蠣（かき）まつり唐桑を開催

■日時／11月19日(日)
午前９時～午後２時
■場所／唐桑運動場

豊かな唐桑の海で丹精込めて育て上げ、全国的にも高い評価を得ている唐桑産のカキが主役の「リアス牡蠣まつり唐桑」が開催されます。

今年は、新気仙沼市誕生を記念して、趣向を凝らした各種イベントが盛りだくさんとなっています。また、カキ以外にも生鮮魚介類や農産品などの販売も行われます。

○唐桑産鮮かき販売コーナー
※売り切れが予想されますので、お早めにお買い求めください。

○物産交流コーナー
※栗原市の農産物をはじめとする各種物産が販売されます。

○お楽しみコーナー
※豪華景品多数！お楽しみ大抽選会・祝い餅まき大会・青空フリーマーケット

○各種芸能アトラクション・体験チャレンジコーナー
※郷土芸能披露・ＹＯＳＡＫＯＩソーラン踊り・元祖かき殻積み上げ大会・見せます巧みの技

○カキ等地場産品の宅配予約受付コーナー
※唐桑町漁協「からくわ味紀行」ゆうパック。

○カキ料理等の試食コーナー
※あつあつのカキ鍋、カキデンガク、カキ炭火焼をご賞味ください。

■問い合わせ先／
リアス牡蠣まつり唐桑実行委員会事務局
（唐桑総合支所産業課内）☎(32)4527

ファミリー・サポート・センター協力会員養成講座を開催

協力会員・両方会員（協力・利用）を対象とした養成講座を開催します。

■日時／11月14日（火）午前９時から正午まで
■場所／市地域交流センター　女性プラザ（「ワン・テン」ビル２階）
■その他／受講科目の「緊急時の対策と応急処置」については、毎月第３日曜日に広域防災センターで開催される「普通救命講習（無料）」を、各自で受講していただきます。
※センターでは、随時会員を募集しています。
■問い合わせ先／市ファミリー・サポート・センター（市社会福祉事務所内）☎(22)6600 内線443
市唐桑総合支所保健福祉課　☎(32)4811

「NPOマネジメント・セミナー」を開催

ＮＰＯ団体やボランティアの方などを対象としたセミナーを、今年度に３回開催します。

第１回は、NPOと行政との協働について学びます。なぜ協働が必要なのか、良いパートナーシップとは何かなど、一緒に学んでみませんか。

■日時／11月７日（火）午後２時から４時まで
■場所／市地域交流センター　交流室Ａ・Ｂ（「ワン・テン」ビル２階）
■内容／「NPOと行政との協働について」
〈講師＝大久保朝江（おおくぼあさえ）さん（NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事）〉※申込方法など、詳しくはお問い合わせください。
■問い合わせ先／市まちづくり推進課まちづくり推進係　☎(22)6600 内線332

11月のおでかけ児童館

おでかけ児童館は、市内の公園や施設に出向き、幼児と親があそびをとおしてふれあう場です。どなたでも自由に参加してください。

日時／11月17日(金) 午前10時30分から11時20分まで
場所／市民健康管理センター「すこやか」
内容／手あそび・読みきかせ・親子体験など
対象／幼児と保護者
問い合わせ先／赤岩児童館 ☎(22)6879
古町児童館 ☎(23)4648

問い合わせ先
市教育委員会生涯学習課生涯学習係☎(22)3442

11月のこどもひろば

こどもひろば
■日時／11月2日(木)・11月16日(木) 午前10時から
■場所／市総合市民福祉センター「やすらぎ」

ふれあいこどもひろば
■日時／11月9日(木) 午前10時30分から
■場所／特別養護老人ホーム恵潮苑

みなみこどもひろば
■日時／11月29日(水) 午前10時から
■場所／赤岩児童館

11月の子育てテレホン講座

☎(23)3900

日　程	対　象	テ　ー　マ
10/30～11/5	幼　児	子どもの成長と反抗期
11/ 6～12		よくない叱り方・いい叱り方
11/13～19		じょうずなほめ方
11/20～26		幼児とウソ
11/27～12/3		自立心を育てる

11月の各種相談

相談は無料で秘密は守られますので、一人で悩まずお気軽にご相談ください。

相談内容	時間	場所	担当
市政・一般相談	月曜日～金曜日 9：00～16：00	市役所市民相談室	市民相談室 ☎(22)3411
登記相談	1日(水) 10：00～12：00	市役所市民相談室	市民相談室 ☎(22)3411
弁護士相談	10日(金) 11：00～15：30 (定員8人・申し込みは1日から)	市役所市民相談室	市民相談室 ☎(22)3411
行政・法律・人権相談	20日(月) 10：00～15：00 (行政・人権は委員宅で毎日)	市地域交流センター	市民相談室 ☎(22)3411
定例人権相談	9日(木) 10：00～15：00	唐桑公民館	市唐桑総合支所総務企画課 ☎(32)4520
定例行政相談	9日(木) 13：00～15：00	唐桑公民館	市唐桑総合支所総務企画課 ☎(32)4520
消費生活相談	月曜日～金曜日 9：00～16：00	市役所市民相談室	市商工課 ☎(22)3437
高年齢者求人・求職相談	月曜日～金曜日 8：30～17：00	高年齢者職業相談室 (市役所社会福祉事務所内)	市商工課 ☎(22)6600内線522
家庭児童相談	月曜日～金曜日 9：00～16：00	市役所社会福祉事務所	市社会福祉事務所 ☎(22)6600内線445
夫やパートナーからの暴力(DV)相談	月曜日～金曜日 8：30～17：00	市役所内 ※相談専用電話(24)5988	市男女共生推進室 ☎(24)5988
高齢者福祉・介護、生活相談	月曜日～金曜日 8：30～17：00	・地域包括支援センター（市民健康管理センター「すこやか」内） ・地域包括支援センター唐桑分室（保健福祉センター「燦さん館」内）	市地域包括支援センター ☎(21)1212 市地域包括支援センター唐桑分室☎(32)4811
青少年相談	月曜日～金曜日 10：00～16：00	市青少年育成支援センター青少年相談室（中央公民館体育館内）	市青少年育成支援センター ☎(24)0766
ふれあい相談(福祉・生活)相談	月曜日～金曜日 9：00～15：00	気仙沼市社会福祉協議会 (総合市民福祉センター「やすらぎ内」) ※必要に応じ電話相談などを実施	社会福祉協議会 ☎(22)0709 唐桑支所 ☎(31)2051
社会保険相談	1日(水)・8日(水)・15日(水)・22日(水)・29日(水) 9：10～15：30	市地域交流センター	石巻社会保険事務所 ☎0225(22)5115

※相談時間は、正午から午後1時までを除きます。

ふるさと再発見！

No.8

新月渓谷（にいつきけいこく）

大川の中流域、廿一川の合流付近から、通称「もぐり橋」付近までの数百メートルにわたる渓谷は「新月渓谷」と呼ばれ、市街地近郊に位置するものの、地形的なことから、隠れた景勝地となっています。また、ヤマセミなどの貴重な野鳥をはじめ、数多くの野生動植物の生息・自生地となっています。

渓流には巨岩や滝などがあり、特に、新緑や紅葉の季節には、すばらしい景色が楽しめますが、散策路などがないことから、散策にあたっては注意が必要です。

なお、新月村誌には、不動峡、いろは滝（小さな滝が連なっている様子から）という呼び名で紹介されています。

貴重な動植物が生きていること、また、上水道取水場の上流にあることから、いつまでも環境を保ち続けていきたいものです。

11月の主な行事

●日程などは変更される場合があります。

18日(土)　気仙沼市合併記念式典

・**時間**／午後1時30分～　・**場所**／市総合体育館「ケー・ウエーブ」

19日(日)　リアス牡蠣まつり唐桑

・**時間**／午前9時～　・**場所**／唐桑運動場

23日(木)　けせんぬま岩井崎プロムナード・荒磯まつり

・**時間**／午前9時～　・**場所**／岩井崎プロムナードセンター

11月の納期

▶ 固定資産税・都市計画税（４期）
▶ 国民健康保険税（５期）

11月30日(木)が納期限です
納期限内に納めましょう

※口座振替の方は残高の確認をお願いします。

R100　PRINTED WITH SOY INK
古紙配合率100%　白色度70%再生紙　大豆油インキを使用しています

広報 けせんぬま（毎月1日発行）
編集／気仙沼市秘書広報課　〒988－8501　宮城県気仙沼市八日町１丁目１番１号
☎0226(22)6600内線207・208　ホームページアドレス　http://www.city.kesennuma.lg.jp/
Eメール　h-koho@city.kesennuma.lg.jp